

## 空母艦載機移駐に関する知事コメント

平成 29 年 1 月 20 日

- 1 月 5 日の米海軍の報道発表に続き、本日、国から、新たに空母艦載機移駐の具体的なスケジュールが明らかにされました。
- このことは、移駐の実現に向け、取組が着実に進んでいるものと受け止めております。
- 移駐の確実な実施に向け、国に対して必要な情報提供を求めるなど、引き続き、厚木基地周辺市と連携した取組を進めてまいります。

(問い合わせ先)

神奈川県 政策局 基地対策部 基地対策課

課長 三森 電話 045-210-3370

副課長 中村 電話 045-210-3371

(添付資料) 防衛省提供資料「空母艦載機の岩国飛行場への移駐について」

## 空母艦載機の岩国飛行場への移駐について

- E-2Dは、2月に第5空母航空団の一員として加わり、岩国に飛来し、E-2CからE-2Dに部隊更新する。
- E-2Dは、2、3ヶ月程度、岩国飛行場に前方展開し、配備前訓練を実施した後、一旦、空母ロナルド・レーガンに搭載されることになる。
- 第5空母航空団の厚木飛行場から岩国飛行場への移駐は、2017年後半に開始される予定であるが、早ければ2017年7月以降、空母ロナルド・レーガンが横須賀に寄港する時期になる。
- 移駐計画は、今後の米側の運用により変更があり得る可能性があるが、現時点における具体的な移駐計画は、次のとおり。
  - 2017年11月頃、FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が岩国へ移駐
  - 2018年1月頃、EA-18Gの部隊及びC-2の部隊が岩国へ移駐
  - 2018年5月頃、FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が岩国へ移駐
- 空母艦載機の移駐に伴い、軍人約1,700人、軍属約600人、家族約1,500人が岩国飛行場へ移動する予定。(合計約3,800人)

